

The **3**rd Flight

「こうのとりの」 ISSへ 打ち上げ迫る!

宇宙ステーション補給機
こうのとりのり(HTV)



H-II B
ロケット



「こうのとりの」3号機最新情報は特設サイトをチェック!

JAXAウェブサイト上に「こうのとりの」3号機特設サイトをオープンしました。HTVプロジェクトメンバーのコラム、ツイッターを通じて寄せられた打ち上げ応援メッセージ、「こうのとりの」3号機プロモーションビデオなど魅力的なコンテンツを続々と公開しています。ぜひご覧ください。



ウェブサイト http://www.jaxa.jp/countdown/h2bf3/index_j.html

打ち上げ当日はインターネットライブ中継を見よう

「こうのとりの」3号機を載せたH-II Bロケット3号機の打ち上げの様を、種子島宇宙センターからインターネットを通じて映像を生中継します。

※打ち上げライブ中継に関する詳細は「こうのとりの」3号機特設サイトでご案内しています。

宇宙ステーション **こうのとりの** 3号機
補給機 (HTV3)

H-II B ロケット
3号機

■打ち上げ予定日

平成24年7月21日(土)

■打ち上げ予定時間 11時18分頃(日本標準時)^{※1}

■打ち上げ予備期間 平成24年7月22日(日)~平成24年8月31日(金)^{※2}

■打ち上げ場所 種子島宇宙センター 大型ロケット発射場

※1 最新の国際宇宙ステーションの軌道により決定します。

※2 予備期間中の打ち上げ日および時刻については、国際宇宙ステーションの運用に係る国際調整により決定します。



この星に、たしかな未来を

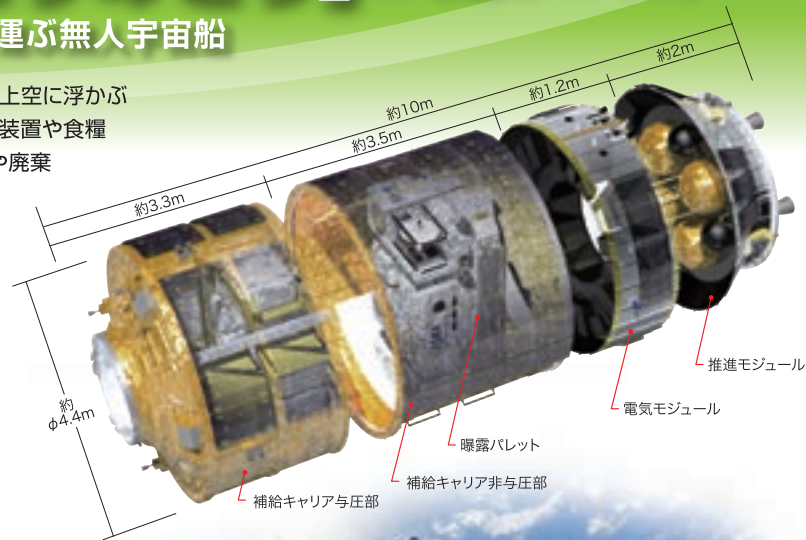
リサイクル適性(A)
このロケットは、宇宙資源の順へ
リサイクルできます。

宇宙ステーション補給機「こうのとり」3号機(HTV3)

国際宇宙ステーション(ISS)に補給物資を運ぶ無人宇宙船

宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)は、高度約400km上空に浮かぶ国際宇宙ステーション(ISS)に物資を届ける無人宇宙船です。実験装置や食糧や衣類など最大6トンの物資を届けるとともに、用途を終えた物資や廃棄物などを積み込み、大気圏に再突入させて燃やします。

「こうのとり」は打上げ毎に改良が行われ、3号機では、国内の先端技術を採用した国産の推進系や通信装置に変更しています。3号機では以下の物資を運びます。



船内物資

- 実験装置のほか、宇宙飛行士のISS滞在に必要な食料品・生活用品など
- 日本の主な物資
水棲生物実験装置(AQH)、小型衛星放出機(J-SSOD)、JAXA公募衛星3機、再突入データ収集装置(i-Ball)
- 海外の主な物資
触媒反応器(水再生システムの一部)、NASA提供衛星2機、再突入データ収集装置(REBR)



水棲生物実験装置(AQH)



小型衛星放出機構(J-SSOD)



再突入データ収集装置(i-Ball)

船外物資

- 日本の物資
ポート共有実験装置(MCE)
- 海外の物資
SCAN Testbed(NASAの実験装置)



ポート共有実験装置(MCE)
& SCAN Testbed(NASAの実験装置)

■ 主要諸元

全長	約10m(スラスタ含む)	廃棄品搭載能力	約6トン
直径	約4.4m	目標軌道(ISS軌道)	高度:350km~460km 軌道傾斜角:約51.6度
質量	約10.5トン(補給品除く)	ミッション期間	ランデブ飛行期間:約5日間 ISS滞在期間:約45日間 緊急待機期間:約7日間
補給能力	最大約6トン (船内用物資:最大約5.2トン 船外用物資:最大約1.5トン)		

H-IIBロケット3号機

H-IIAロケットの技術を生かした、より能力の高いロケット

H-IIBロケットは、H-IIAロケットで培った技術を最大限活用し、低コスト、低リスク、短期間での開発に成功した世界最高水準の打ち上げ能力を持つ日本の大型ロケットです。

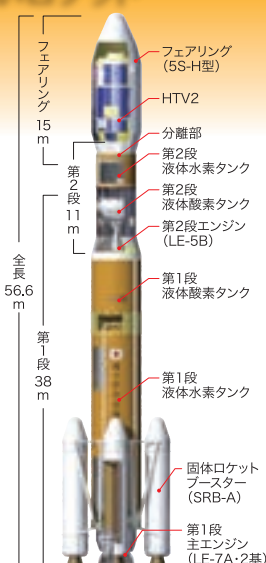
H-IIBロケット3号機は「こうのとり」3号機(HTV3)を所定の軌道に投入することを目的に打ち上げられます。

2009年9月11日のH-IIBロケット試験機の打ち上げでは、日本の主力ロケットの初号機としては初めて予定の日時に遅れることなく、「こうのとり」1号機(HTV1)を所定の軌道に投入することに成功し、NASAをはじめ世界の賞賛を受け、国際貢献度を高く評価されています。

スペースシャトルの退役後は、このH-IIBロケットによるHTV打ち上げが国際宇宙ステーションへの大型カーゴ物資輸送としては唯一の手段となることから、H-IIBロケット3号機は、大きな期待を背負って、打ち上げに臨みます。

■ 主要諸元

全長(m)	56.6	代表的軌道	軌道高度例	打ち上げ能力
全備質量(t)	531 (ペイロードを除く)	静止軌道 (静止トランスファ軌道)	約36,000km	約8t
誘導方式	慣性誘導方式	HTV軌道 (軌道傾斜角 51.6度)	約350km~460km	約16.5t



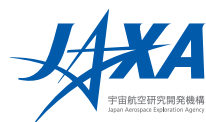
星出宇宙飛行士、ふたたび宇宙へ。

星出彰彦宇宙飛行士は2012年7月から約4ヶ月間、第32次/第33次長期滞在クルーのフライトエンジニアとしてISSに滞在し、「きぼう」日本実験棟の実験運用やISSの運用・維持管理を行います。

今回の「こうのとり」3号機による物資補給ミッションは星出宇宙飛行士のISS滞在中に実施されます。今回、日本人宇宙飛行士として初めて「こうのとり」ミッションに携わり、ISSで「こうのとり」を待ち受けます。

搭載されている日本の実験装置の組立てや実験を行う予定です。

■ 打ち上げ予定日:平成24年7月15日(日)



宇宙航空研究開発機構 広報部

〒100-8260

東京都千代田区丸の内1-6-5
丸の内北口ビルディング 3F

TEL.03-6266-6400

- JAXAウェブサイト
<http://www.jaxa.jp/>
- 「こうのとり」3号機/H-IIBロケット3号機 特設サイト
<http://www.jaxa.jp/countdown/h2bf3/>
- 「こうのとり」3号機(HTV3)ミッション
<http://www.iss.jaxa.jp/htv/mission/htv3/>
- メールサービス
<http://www.jaxa.jp/pr/mail/>

